

b002030

吉田区 吉田岳岳参り

概要 適用



b002030001)



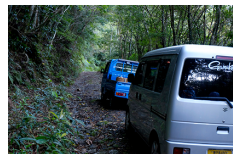
b002030002



b002030003



b002030004



b002030005



b002030006



b002030007

- ・ 春と夏に行われる。
- ・ 登る山は「吉田岳」標高 1165 メートル。民家がある所からは見えない。港の先端からは見える。
- ・ 現代に入ってから一度も途絶える事なく、続いている。唯一、台風が接近した年のみ、登山口で引き返してきたことがある(集落の方談)
- ・ 「みんだいこ」(耳太鼓)と呼ばれる踊りを途中の広場で行ってから、山頂を目指す。一説に「この先の山にこれから登ります」という神様への合図のようなものとのこと。
- ・ 森山神社で「宮籠り(みやごもり)」をする。基本的には岳参りをする人が飲み食いをする。
- ・ 帰ってきたら、「坂迎え(さかむかえ)」。森山神社で神事をしてから、ふれあい館で2次会。
- ・ 以前は岳参りの日に仕事をすると怒られた。
- ・ 食糧難の時も坂迎えの料理はしっかりと作られた。
- ・

写真コメント

b002030001.JPG 祠は「三岳権現」。

b002030002.JPG 森山神社で前夜に「宮籠り(みやごもり)」。

b002030003.JPG 翌日の岳参りに行く人が集まる。

b002030004.JPG 出発当日は浜で砂と海水を取り、森山神社から出発。

b002030005.JPG 現在は一湊林道から。昔は吉田の浜から登っていた。

b002030006.JPG 2015 年秋は9名。多い時は20名近く登る事も。

b002030007.JPG 途中の水場で神事に使う水をくむ。

b002030008.JPG 「みんだいこ」(耳太鼓)の風景。

b002030009.JPG 頂上の「二等三角点」。



b002030008



b002030009



b002030010



b002030011



b002030012



b002030013



b002030014



b002030015



b002030016



b002030017



b002030018

b002030010.JPG 頂上から見える永田方面。

b002030011.JPG 頂上の樹間より、奥岳。

b002030012.JPG 里から持ってきた砂、海水、酒で神事を行う。

b002030013.JPG 吉田岳山頂にはシャクナゲはなく、アセビを飾る。

b002030014.JPG 「登った人の特権」でサバの肝のポン酢付け。

b002030015.JPG 海の幸(上)、山の幸(下)を7品ずつ並べる。

b002030016.JPG まずは白飯を手の甲にのせ、食べる。

b002030017.JPG 森山神社で「坂迎え」は女性陣の活躍でにぎやかに行われる。

b002030018.JPG ふれあい館にてちょっとした二次会。